

平成22年度県立大学地域貢献研究の研究成果について（中間報告）

研究テーマ	地域環境力向上に資する環境教育システム開発に関する実践的研究
研究期間	平成 22～ 23年度
主たる研究者	【学部・学科】 学術教養センター 【職・氏名】 教授・菊沢 正裕

○研究目的

持続可能な社会を築くには、それに対する社会的合意が必要であり、そのため社会人に対して多様な方法による環境教育が求められています（図参照）。本研究では、どのような形でそれを実現するかを実践的に研究します。

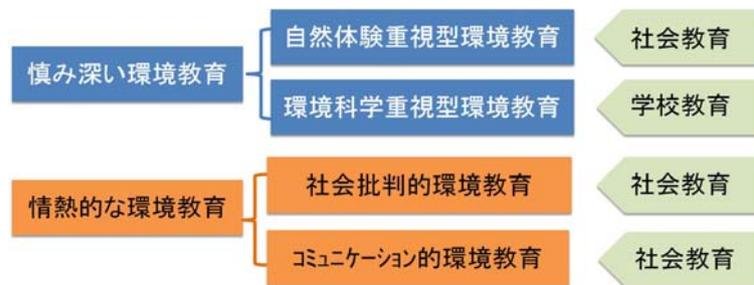


図 環境教育分類（今村光章著：環境教育という<壁>による）

○研究成果

平成22年度は、学習や行動を支援するシステムを考えること、および社会教育の対面授業や活動報告会等の映像や教材を学習管理システムに掲載することに主眼をおきました。

1. 遠隔教育としてのスタイル

遠隔教育の道具である、ホームページ、LMS（教材を提供する学習支援ツール）、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービスといわれる交流のためのツール）を次のように制作しました。(1) 学習者が最初に入るポータル（玄関）をホームページとして制作しました。(2) 学習と交流ができる仕組みを、Fレックス（福井県内の7高等教育機関の連携プロジェクト）のLMSとSNSを使って作りました。(3) ビデオや教材等をLMSに掲載しました。(4) ロゴやテーマごとのアイコンをデザイナーに制作委託しました。HP、SNS、LMSの画面を次頁の図に示します。

2. コンテンツ制作

行政と市民が連携して住民の環境意識を高め、まちの環境保全を推進する団体が全国各地にあります。福井市環境パートナーシップ会議（略称FEPS）もその一つです。ここでは、FEPSが活動の一環として実施している環境団体の活動報告会「福井・環境ミーティング」や、社会人対象の環境学習教室「エコカレッジ福井」の授業等をビデオ収録し、学習教材として利用しました。平成22年度の具体的なコンテンツは、エコカレッジ福井の授業（12コマ）、卒業生による企画講座（3コマ）、福井環境ミーティング（活動報告20コマ）をビデオ収録し、基本編集を経てLMSに収録しました。ビデオ収録・編集を委託しましたが、同時に編集技能を専門家から学びながら効果的な編集について検討しながら進めました。成果の一部を図に示します。

図 HP ポータル画面

図 交流を行う SNS の画面

図 LMS の画面

図 LMS 内の「エネルギー講座」画面

○ 平成23年度の計画

当初計画通り、別コースの授業およびイベントの撮影、LMSの教材としての編集を行います。新たに、河川の生物調査などの結果を、市民自らが現地から SNS 上に投稿し、地図上に水環境や水質レベルを比較閲覧できる仕組みを構築する予定です。多くの市民が環境学習に利用し、交流が始まり環境行動として結実するための魅力的な学習サイトを作ります。